
株式会社クサガヤ急送における

障がい者雇用の取り組み・定着支援

株式会社クサガヤ急送

〒410-0106 静岡県沼津市志下482-2
TEL 055-935-4961

事業案内

クサガヤ急送(以下当社)では、運送事業を中心に福祉事業、通販事業を行っております。

運送事業

佐川急便・西濃運輸・日本郵便・自社配送など
配送に関する業務を行っております。
また、石油協会サンプル採集や
近隣地域への引っ越し業務も行っております。

福祉事業

放課後等デイサービス、福祉介護タクシー、訪問介護サービス、居
宅サービスといった福祉を行っております。
その他、産後ケアサービスも沼津市より受託しております。

通販事業

楽天市場・Yahooショッピング・amazonといった
大手ショッピングモールに出店。
沼津の干物やしらす、パン等 様々な商品を取り扱っております。



障がい者雇用について

運送事業部では、障がい者雇用を積極的に行っており
現在も聴覚障害、知的障害、身体障害、精神障害といった障がいを持つスタッフが勤務しております。

知的障害（療育手帳 障害の程度 B）

■ 配送助手 A君

沼津特別支援学校の「産業現場等における実習（現場実習）」で当社の仕事を体験し、高等部卒業後、平成29年3月入社。
入社後は、運送事業部にて配送助手をしながら運転免許の取得を目指しています。
免許の取得後は、3年の研修期間を経て一人前の配送ドライバーとして活躍していただく予定です。

知的障害（療育手帳 障害の程度 B）

■ 配送ドライバー B君

ハローワークを通して平成28年4月入社。
運転免許を取得済のため6ヶ月の配送助手（研修期間）を経て、配達ドライバーとして活躍しています。
現在は沼津市香貫エリアを担当し、まだ未熟な点もあるものの1日約40件の配達を行っています。
今後の目標は配達個数を伸ばしていくことですが、その方法に関してはヒアリングを行いつつ問題点の解決をはかっています。

聴覚障害（身体障害 6級）

■ 配送ドライバー C君

障がい者就職面接会・ハローワークを通して平成28年10月入社。
1ヶ月の配送助手（研修期間）を経て、配達ドライバーとして活躍しています。
配達の際は、聴覚障害マークを首から下げておくこと、事前に取り先へと周知をするなどの対応をしています。

障がい者雇用一例

運送事業部 配送助手 A君の場合

1. 障がい特性について
2. 1日の仕事の流れ
3. 障がいに対する基本方針・問題とその対応

障がい特性について

現在、運送事業部にて配達助手として勤務しているT君の場合、次のような障がい特性を持っています。
当社ではスタッフ全員に障がい特性を周知し、いつでもフォローできる体制を整えています。

基本的な生活習慣 安全・マナー等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注意力散漫な部分が見受けられるため 車道への飛び出しや荷運び等 安全への注意が必要
運動・動作等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良好
認知 文字 時間 数量 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単な漢字を読むことができる ・ 時間・数量を理解することができる ・ 簡単な計算ができる
コミュニケーション 指示理解・会話等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口頭での指示に対して、理解できていないときがある
社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ きまりを守って生活することができる
作業性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正確な作業が難しい面もあるが、意欲的に取り組むことができる ・ 同じ作業を繰り返し行う事で作業を覚えることができる
障がいと疾病の状況 療育手帳の判定等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康状態良好 ・ 療育手帳B

1日の仕事の流れ

T君の仕事の流れを紹介します。
運送という仕事の特性上、休憩時間に関しては決められた時間にとることは出来ませんが必ず1時間の休憩をとれるよう取り計らっています。

8:45

出社

9:00

荷物の積み降ろし・仕分け作業

9時ごろになると、佐川急便から荷物がトラックで届きます。
届いた荷物をトラックから積み降ろし、荷札の住所ごと各配送エリアへと仕分けをします。

住所に記載されている難しい漢字を読むことができない・覚えることが難しいため
スタッフにひとつひとつ聞きながら配送エリアへと仕分けしているのが現状です。

仕分けをひとつずつ覚えていけるよう
配送エリア表にはふりがなを振り、1エリアごと無理のないレベルで
覚えてもらっています。



10:20	配送開始(助手)
<p>荷物の積み降ろしや仕分けが終わったら配送を開始します。配送助手をしながら配送ドライバーとして大切なことを学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お客様対応(挨拶・マナーなど) ・ 車への荷物の積み方・降ろし方 ・ 荷扱いの方法 ・ お荷物・伝票チェック ・ お荷物の指定日・時間帯チェック ・ 交通ルール・マナー ・ 後ろ周り乗車による安全チェック <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

16:20	配達終了・業務日報
<p>1日の配達個数や連絡事項などを業務日報にまとめて提出をし配送業務を終了します。</p>	

17:00	洗車・車内清掃 および 施設内外清掃
-------	--------------------

18:00	退社
-------	----

障がいに対する基本方針・問題とその対応

基本方針

繰り返し根気強く指導をしていく方針をとっています。
また、周りのスタッフにも障がいを持つこと、配慮しなければいけない点について話し協力体制を築いています。

問題と対応 ケース1.

■ 来客および訪問先の目のやり場について注意があった

来客時や訪問先にて興味をもったものを見つめてしまう、覗き込んでしまうなど
目のやり場についてお客様より注意がありました。
また、その際 目を細めている様子が睨んでいるようにみえるという指摘も併せていただきました。

訪問先に訪れる前に、車内で注意点について毎回 声掛けをし指導をしていきました。
また何度もコミュニケーションをとっていくことで、視力が悪く目を細めてしまうこともわかり
勤務中は眼鏡をかけるよう指導を行い改善をはかりました。

問題と対応 ケース2.

■ 挨拶ができない・どもってしまう

普段(スタッフ間)の挨拶に問題はないのですが、お客様が来店した時や配達先で挨拶ができない・どもってしまうなど
お客様の印象があまり良くなかった。

緊張や突発的な出来事に弱いようだった為
お客様のところに行く前に必ず「まずは挨拶からね」などの声掛けを繰り返し行っていきました。
そうしていくうちにお客様の前でも徐々にどもってしまうことが無くなり明るい挨拶が出来る様になり
お客様からも良くなってきたねとお声をいただけるようになりました。

問題と対応 ケース3.

■ 会社名や住所など、漢字が読めず仕分けエリアを覚えることが出来ない

難しい漢字を読むことができない、覚えることができないため
荷降ろし後の仕分けが出来ず、スタッフにエリアをききながら仕分ける形をとっています。

まずはよくお荷物が届く会社名から徐々に覚えてもらい、会社に関してはスムーズな仕分けが出来るようになってきました。
現在は、ふりがなを振ったエリア表を配り、ひとつずつ配達エリアを覚えてもらっています。

定着支援

障がいを持つスタッフを雇用する上で、少しでもより良い環境を整えるため
社長や専務自ら率先して障がいのある人の就労や雇用を支援する「ジョブコーチ養成研修」を受講し
障がい者雇用について学び、現場へとフィードバックしています。

